

北朝鮮、ミサイル発射

日本上空を通過 被害なし、迎撃は見送り

北朝鮮は五日午前十一時半ごろ、人工衛星と称して準備していた長距離弾道ミサイルを北部の舞水端里にあるミサイル発射施設から発射した。日本政府が発表した。ミサイルは日本上空を通過し、被害情報はない。

一段目は同三十七分ごろ、秋田県の西約二百八十キロの日本海に、二段目は同四十三分ごろ、日本の東約千二百七十キロの太平洋上に落下したと推定される。政府は「明白な国連安保理決議違反」として新たな決議を念頭に安保理の開催を促し、独自の制裁も強化する方針。



米デジタル・グローブ社が3月29日に撮影した北朝鮮・舞水端里の発射施設—同社提供・共同



自衛隊は日本領域への落下に備え、ミサイル防衛(MD)による迎撃態勢を整えていたが、迎撃措置は取らなかった。